



平成22年2月号 No.88 発行／館山市議会

TATEYAMA

〒294-8601 館山市北条1145-1 ☎0470-22-3527

●議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



市議会特別委員会主催による多目的観光桟橋視察

12月定例市議会は、12月4日から22日までの会期19日間にわたり開かれ、市長提案の1議案が修正可決され、市長提案の9議案と議会提出の3議案が原案どおり可決されました。

12月9日及び10日は、11人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考え方をただしました。

12月15日は、各議案について質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託しました。

最終日（12月22日）は、各委

12月定例会において、会議初日（12月4日）は、会期を19日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明が行われました。

12月9日及び10日は、11人の議員が委員長が委員会での審査の経過及び結果を報告した後、討論、採決を行いました。続いて、追加議案の審議を行ない、閉会しました。

市長等の給料減額のための条例改正、土地開発基金条例の改正など14議案を議決

平成21年第5回臨時市議会（12月28日開催）

市長等の給料減額のための条例改正、土地開発基金条例の改正など14議案を議決

平成21年第4回臨時市議会（11月26日開催）

主な内容

- ★議案の概要 2頁
- ★委員会の審査 3~4頁
- ★一般質問 5~9頁
- ★議決結果 10頁

議案の概要

第4回臨時会に提案された議案を紹介します。

平成22年2月15日
市一般会計補正予算(第5号)
市一般会計補正予算(第5号)
の専決処分の承認について(歳入歳出それぞれ4585万5千円を追加し、総額169億1491万6千円としたものを承認しようとするもの。)

市一般会計補正予算(第5号)
の専決処分の承認について(歳入歳出それぞれ4585万5千円を追加し、総額169億1491万6千円としたものを承認しようとするもの。)

議案第62号 館山市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について(平成21年度の一般職員の給与改定に合わせ、期末手当の支給率引き下げを行おうとするもの。(期末手当年間支給月数▲0・35月))

議案第63号 館山市職員給与支給月数▲0・35月)

議案第63号 館山市職員給与

条例等の一部を改正する条例の制定について(平成21年度の一般職員の給与改定に合わせ、期末手当の支給率引き下げを行おうとするもの。)の変更について(安房南部区域農用地総合整備事業に伴い、地方自治法第260条第1項の規定により、館山市の区域内の字の区域及び名称を変更しようとするもの。)人事院勧告及び10月の千葉県人事委員会勧告に準じ、市においても同様に給与改定を実施するもの。(給料平均▲0・19%、期末勤労手当支給月数▲0・35月、など)

【議会提案議案】

発議案第11号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について(一般職員の給与改定に合わせ、市議会議員の期末手当の支給率引き下げを行おうとするもの。(期末手当年間支給月数▲0・35月))

12月定例会に提案された主な議案を紹介します。

議案第64号 館山市土地開発基金条例の一部を改正する条例の制定について(財源の有効活用を図るため、土地開発基金の額を見直し、5億円から1億円としようとするもの。)

議案第64号 館山市土地開発基金条例の一部を改正する条例の制定について(財源の有効活用を図るため、土地開発基金の額を見直し、5億円から1億円としようとするもの。)

議案第65号 字の区域及び名称の変更について(安房南部区域農用地総合整備事業に伴い、地方自治法第260条第1項の規定により、館山市の区域内の字の区域及び名称を変更しようとするもの。)規定により、館山市の区域内の字の区域及び名称を変更しようとするもの。



事業により整備された圃場の一部

議案第67号 平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)歳入歳出の増減はなし。
シス템の使用料及びネットワークに係る利用料等、高額療養費支給システムその他システムの保守点検等に係る委託料。

【追加議案】

議案第68号 平成21年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)歳入歳出それぞれ814万6千円を減額し、総額5億6561万8千円としようとするもの。

総務管理費において、給与改定に伴う人件費の減額などを。

議案第69号 平成21年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)歳入歳出それぞれ259万8千円を減額し、総額3億6770万6千円としようとするもの。

給料については市長15%、副市長及び教育長10%の減額、期末手当については従来から実施している0・05月分の減額及び役職者加算の半減を継続しようとするもので、実施期間は行財政改革方針の最終年度までとし、平成22年1月から平成25年3月まで。

議案第70号 平成21年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)歳入歳出それぞれ39億583万3千円としようとするもの。

総務管理費において、給与改定に伴う人件費の減額などを。

議案第72号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第7号)(12月9日提出)歳入歳出の増減はなし。

入札結果に伴う市民センターホール棟解体事業の減額、赤山

8億6781万6千円としようとするもの。

管理費において、給与改定に伴う人件費の減額など。

地下壕跡へのアプローチ園路整備に係る事業計画変更に伴う測量委託の減額及び駐車場整備工事の追加による公園園路整備事業の増額。

議案第73号 工事請負契約の締結について（12月15日提出）＝館山港交流拠点整備（港湾緑地・プロムナード）工事に係る総合評価競争入札方式での制限付き一般競争入札の結果、白幡興業株式会社が1億7,664万30円で落札したので、同社と工事請負契約を締結しようとするもの。

【議会提案議案】

発議案第12号 館山港多目的観光桟橋への浮き桟橋の早期設置に関する意見書について（12月22日提出）＝請願第16号の趣旨によるもの。

発議案第13号 非核三原則の

早期法制化を求める意見書について（12月22日提出）＝陳情第19号の趣旨によるもの。

発議案第14号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について（12月22日提出）＝市の厳しい財政状況を踏まえ、議員の期末手当について、従来から実施している0・05月分の減額及び役職者加算の半減

館山市における平和都市宣言（平成4年9月29日宣言）

世界の恒久平和は、人類共通の願いであります。

この願いを実現するためには、世界の人々が互いに理解を深め合い、生命の尊さを認識し、戦争のない平和な社会を追求していくかなければなりません。

私たち館山市民は、日本国憲法の掲げる崇高な理想を深く自覚し、武力による紛争を無くすとともに、核兵器の廃絶を訴え、世界の人々と共に手を携えて、かけがえのない地球の恒久平和実現のため、ここに館山市を「平和都市」とすることを宣言します。

を、議員任期が満了となる平成23年4月まで延長しようとするもの。

【議員からの修正案】

議案第71号 館山市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてに対する修正案（12月22日提出）＝市長提案の議案で平成25年3月31日までとなっている実施期間を、市長の任期である平成22年12月9日に改めようとするもの。

【意見書提出】

意見書2件を関係機関に提出しました。（発議案第12号、第13号によるもの）

第5回臨時会の付議事件 を紹介します。

る平成22年12月9日までとした修正議決は、市長の行政方針に沿わないため、地方自治法第76条第1項の規定により再議を請求するもの。

委員会の審査

定例会における各委員会の審査等について、主なものをお知らせします。

議案第65号 字の区域及び名称の変更について
農用地総合整備事業に伴うもの費用もかかっているが、市としてどんな効果があるのか聞いたところ、農地の有効利用が図れる中で、今後の営農に対し十分期待が持て、利便性が図られるという点で効果があるとの説明がありました。

議案第66号 平成21年度館山市一般会計補正予算（第6号）

歳出の防災対策費中、全国瞬時警報システム整備工事請負費に関して、防災無線が聞こえない地域への対応を聞いたところ、防災無線新設整備計画では41基整備が必要で、今年度までに20基整備し、23年度まで計画している。財政状況を考慮しながら、なるべく早く整備していただきたいとの説明がありました。

総務委員会

議案6件、陳情1件について審査を行いました。

議案第64号 館山市土地開発基金条例の一部を改正する条例の制定について

減額する4億円をどう有効活用するのか聞いたところ、今年度一般会計当初予算で借り入れる予定であつた3億円を借り入れない。また、1億円は今年度予算で有効活用していくとの説明がありました。

議案第71号 館山市長及び副

市長の給与及び旅費に関する条例及び館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例についての再議について（12月定例会で実施時間を市長の任期までに変更する考えはないか聞いたところ、行政改革方針は非常に



駐車場が整備される赤山地下壕

重いと認識しており、その最終年度までという思いで提案したので変更する考えはないとの説明がありました。

討論では、実施期間について異論はあるが削減の趣旨には賛成するとの討論がありました。

議案第72号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第7号)市民センターホール棟解体工事請負費の減額分を赤山地下壕駐車場整備に充てるということ

だが、整備は予定されていたもののか聞いたところ、急きよく、以前より要望があつたものであるとの説明がありました。

議案3件、陳情1件について審査を行いました。

議案第72号 平成21年度館山市一般会計補正予算(第7号)市民センターホール棟解体工事請負費の減額分を赤山地下壕駐車場整備に充てるということ

だが、整備は予定されていたもののか聞いたところ、急きよく、以前より要望があつたものであるとの説明がありました。

議案第67号 平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

複数年契約である高額療養費支給システムについて各年度の負担と既存システムとの違いを聞いたところ、平成21年度から25年度まで限度額を200万円で設定していたが、法改正等があり、その分の限度額引き上げをしたものでシステム上の変更はないとの説明がありました。

議案第69号 平成21年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)

ついて、西風でお客様が波を受けないような対策ができるいか聞いたところ、前面に石積みの築堤部分があり、そこで碎波がかかると考へる。必要以上の風が吹いた場合には、桟橋への立ち入りが禁止されるので、お客様への支障はないと想定しているとの説明がありました。

議案第70号 平成21年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)

使用料納入通知書等の印刷費に關して、複数年度分を一括発注すれば経費削減になると思うが、通知書の様式の変更等があるのか聞いたところ、今年から

二エンスストアなどでも支払ができるようにしたことに伴い、

議案第73号 工事請負契約の締結について

敷地内から桟橋に行く部分について、西風でお客様が波を受けないような対策ができるいか

聞いたところ、前面に石積みの築堤部分があり、そこで碎波が

かかると考へる。必要以上の風が吹いた場合には、桟橋への立ち入りが禁止されるので、お客様への支障はないと想定しているとの説明がありました。

議案第74号 平成21年度館山市建設経済委員会

議案1件、請願1件について審査を行いました。

議案第75号 平成21年度館山市建設経済委員会

観光桟橋への浮き桟橋の早期設置方請願書

桟橋整備の要望は、昨年も市議会として意見書を提出してお

り、ぜひ採択すべきとの発言がありました。

また、当初、計画されていた小型桟橋の規模と事業費について聞いたところ、幅10メートル、長さ50メートルの規模で、事業費は算定されていないとの説明がありました。

また、入札差金などが出た場合、市の事業として実施できないか聞いたところ、国、県の事業として進めており、現在の状況では考えていない。第2期計

10月13・14日 建設経済委員会行政視察＝宮崎県都城市・宮崎県宮崎市、中心市街地活性化

について・宮崎港周辺整備について

11月5・6日 文教民生委員会行政視察＝静岡県沼津市・神奈川県箱根町、小中一貫校・学校統廃合について

11月18・20日 総務委員会行政視察＝島根県松江市・島根県海士町、行財政改革の視点とその効果について

12月15日 館山湾整備調査等特別委員会管内視察＝館山港多目的観光桟橋・渚の駅・汐入橋・シンボルロードについて

議案第73号 工事請負契約の締結について

議案第69号 平成21年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)

平成22年1月から様式を変更する。また、3枚圧着式のはがきを使用しているので長期の保存となる複数年度分の一括発注は、なじまないと考えているとの説明がありました。

また、給与改定により給料などが減額補正されている中で共済費が増えている理由を聞いたところ、共済負担金の率が上がったためであるとの説明がありました。

各委員会で行つた行政視察等について、主なものをお知らせします。

委員会の視察等



一般質問

市政に関する一般質問は、12月9日及び10日の2日間にわたり、次の11名の議員が行ないました。
議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。



三沢 智

- ①高齢者対策について
- ②まちなか再生の取り組みについて
- ③体験型・交流型観光について

一般質問通告要旨



本多 成年

- ①11月に行われた市有地等の公売について ②地域活性化補助金の成果はどうか
- ③館山港多目的観光桟橋の整備について ④児童手当について



山口 安雄

- ①行財政改革について
- ②国で行われている事業仕分けについて
- ③観光立市館山としての事業対効果の再検証について



秋山 貴

- ①観光立市たてやま行動計画の進捗状況について
- ②行財政改革の進捗状況について



真田 司郎

- ①館山市の21年度予算執行の支障並びに22年度予算について ②行政改革における事業仕分けについて ③農地法改正による今後の対策について ④介護基盤緊急整備事業の交付について ⑤鳥獣被害防止対策の強化について
- ⑥自主防災組織の活動マニュアルについて ⑦エコツーリズムの推進について ⑧下水道事業の見直しについて



内藤 欽次

- ①館山桟橋とその関連施設の工事の現状と今後の問題点について ②ウミホタルの生息状況について
- ③新型インフルエンザによる市民の不安を取り除き安全安心の対策について ④スクールバスの運行協力金の廃止について ⑤市の発行のだん暖たてやま70周年記念特集号について



榎本 祐三

- ①監査委員審査意見書で求められた項目に対する具体的な取り組み状況について
- ②平成20年度決算認定での附帯決議に対する具体的な取り組み状況について
- ③財政非常事態宣言について



吉田 正二

- ①学校再編における指針の内容と説明実施時期及び学校再編に伴う地域再編について
- ②新型インフルエンザの現在までの状況と対応について ③市内の母子・父子家庭の現状及び扶助費の現状と経年変化について



三上 英男

- ①千葉県市町村総合事務組合の運営について
- ②経常収支比率是正のための市民サービス低下について
- ③市職員使用パソコン体制の見直しについて



小沼 晃

- ①広域ゴミ処理施設について ②ゴミ収集方法の見直しについて ③小規模土地改良事業に対する助成の復活について ④市道4040号線改良工事の経過と今後の見通しについて



鈴木 順子

- ①多様化する消費者相談について ②新桟橋周辺の整備について ③市庁舎エレベーター設置の具体的検討結果について ④虐待について

主な質問と答弁

行財政改革

- ・改革の効果と理由
- ・国事業仕分けの影響
- ・政権交代の影響
- ・財政課題の取り組み
- ・市民サービス低下

の新年度予算への影響について同います。

答 国の動向が流動的で不透明の中、国や歳入の動向を的確に把握することに努め、新たに導入した一課一削による事務事業の見直しを積極的に行うとともに、緊急性・必要性が極めて高いものを選択していきます。

問 行財政改革でなぜ効果が出ないのか理由を伺います。

答 17年度策定の行財政改革

プランに基づき、職員数削減を

はじめ、全部署で職員一丸となつて取り組んでおり、20年度までに約7億9700万円の大きな

効果が出ていると考えています。

しかし、地方交付税や景気の低迷による収入の減少、更に百年に一度といわれる不況など、想定以上に歳入が減少して

います。財政收支のバランス回復のため、今以上に効率的・効果的に事業を行うなど改革を断行していくことを、議員主体の事業仕分けにも取り組んでもらえれば更に効果が上がると考えています。

答 今年度は7事業の仕分けを行っています。議員主体の事業仕分けにも取り組んでもらえれば更に効果が上がると考えています。

問 既に行っている市の事業仕分けについて、その評価と成果を伺います。

答 今年度は7事業の仕分けを実施しました。評価としては、「市が実施すべきだが改善等が必要」が5事業、「民間移行」が1事業、「不要」が1事業となっています。これら事業につ

問 政権交代による21年度予算執行に対する懸念について伺います。

答 政権交代による21年度予算執行への支障はないか同います。今後も、国の動向を注視し、情報収集と適切な予算執行に努めています。

問 国の事業仕分けによる市

経常収支比率を100パーセン

21年度外部評価(事業仕分け)結果一覧

事務事業名	評価
放課後子ども教室推進事業	館山市(ただし改善等が必要)
50メートルプールの管理運営	館山市(ただし改善等が必要)
老人福祉センターの管理	館山市(ただし改善等が必要)
鏡ヶ浦(館山湾)環境調査業務	不要
ごみ収集業務	館山市(ただし改善等が必要)
客船等歓迎委員会の運営	移行(民間)
海岸の清掃等の維持管理	館山市(ただし改善等が必要)

※詳細は館山市ホームページに記載されています。

いては、評価結果を踏まえた上で今後の方向性を検討し、更なる行財政改革を推進していくます。また、最大の成果についても説明責任の重要性など職員の意識改革が図られたことです。が、これ以外にも説明能力の向上や各事業の費用対効果の検証ができたことが成果であると考えています。

取り組み状況を伺います。

答 「事業規模の縮小」につ

いて、21年度予算は年度途中のため縮小困難ですが、22年度予算で取り組んでいきます。「人件費その他の経常的経費の削減」については、管理職による時間外勤務の適正管理や職員数の削減などにより人件費の縮減に努めています。また、経常

経費については、全職員対象で財政状況説明会を実施して更なる経費節減を呼びかけるとともに、新年度予算編成作業で削減に努めています。「各種補助金の見直し」については、新年度予算編成作業で、社会情勢の変化を踏まえた必要性の検証、民間との役割分担、費用対効果、補助率の適正化などの観点から個々の事業ごとに十分に精査・検証しています。

答 行財政改革方針に掲げた目標を達成していくことが経常収支比率改善につながります。方針では、各種使用料や施設の統合、民営化、廃止などの見直しを掲げており、市民に負担をお願いすることも想定していますので、市民の理解と協力を得ながら行財政改革を推進していきます。

す。次に、「市執行部、職員及び議員が一丸となって健全財政の確保に努めること」については、全職員対象の説明会で財政の窮状を説明するとともに、難局克服のためにあらゆる知恵と努力を結集し、徹底した経費削減と事務事業の縮減について意思統一を図りました。

観光

- ・行動計画
- ・多目的観光栈橋
- ・ウミホタル

議会が行つた附帯決議に対する具体的な取り組み状況を伺います。

答 「財政の現状を市民に周知すること」については、決算状況を広報で知らせ、経常収支比率について11月15日号から連載を開始し、市民の理解と協力が得られるよう説明していきま

議会だより

問 観光立市たてやま行動計画の進捗状況に關し、費用対効果を考慮した効率的・効果的な投資について、P D C A サイクルの考え方を基本とした事業実施について、推進部会の開催状況及び協議内容について伺います。

答 各事業の実施に当たっては、N P O や市民、大学、観光関連事業者等との連携により、市民・民間の創意工夫や大学の学術的知識を引き出しつつ、効率的・効果的な事業推進に努めているところです。また、P D C A サイクルの考え方を基本とした事業実施については、目標達成に向けて事業を適切に推進するため、定期的に内部評価を行っています。また、推進部会については、昨年度より南房総観光圏事業、地方の元気再生事業、e・地域資源活用事業など様々な事業を展開中で、今は行動する時と考えています。現在は開催していません。

問 多目的観光棧橋とその関連施設の工事の状況と今後の問題について伺います。

答 棧橋の整備状況については22年3月下旬に完了見込みだと千葉県から聞いています。完成後の利用見込みについては、「にっぽん丸」が2回、「ばしゆいっぽん丸」が2回、高速ジェット船については市民号と春の季節運行が計画されています。他からも接岸したいとの問い合わせが市に寄せられていますので、積極的にボートセールスを開催しています。市としては、これら海からの来訪者や観光スポットとして訪れる多くの方に桟橋を交流拠点として利用してもらいたい、市の地域経済活性化や観光振興につなげたいと考えています。

問 新桟橋周辺の道路整備計画、桟橋基部の放置艇対策について伺います。

答 現在、北条海岸沿いの市道をシンボルロード整備事業として22年度末の完成を目指して整備を進めています。さらに、新桟橋周辺の道路整備計画、桟橋基部の放置艇対策について伺います。

問 ウミホタルの生息状況と工事の影響について伺います。

答 館山ウミホタル観察俱楽部から、工事開始後は一時的に減少したが現在は多くなっています。そこで、生息状況を確認していきたいと思います。



人道橋が計画されている汐入橋

福社・保健・医療

- ・高齢者対策
- ・新型インフルエンザ

問 高齢者対策について、市福祉課、地域包括支援センター、民生委員、社会福祉協議会等のつながりと仕事内容について伺います。

答 市は認知症や虐待対策、老人ホーム入所措置など高齢者の援護全般を行っています。地域包括支援センターは介護予防や、必要なサービスにつなげていくために保健・福祉・医療機関との調整等を総合的に扱っています。また、社会福祉協議会はボランティア活動の支援や生活福祉資金の貸付など民間の福祉活動を推進しています。その中で、民生委員は住民とこれらの機関とのパイプ役として活動

し、地域の高齢者の生活上の相談に応じ、助言その他の援護を行っています。それぞれの機関は、その持っている機能を生かし、必要に応じて連携を図っています。地域住民の福祉向上のため活動を続けています。

問 流行期に入ったとされる新型インフルエンザの現在までの状況と対応に関して伺います。

答 安房健康福祉センター管内では、12月6日現在、一週間の発生数が定点医療機関あたり24・86人で、注意報レベルは超えているものの幸いにして大きな感染拡大とはなっていません。現在の感染予防対策として、市主催のイベント会場や公共施

設への消毒薬の設置、マスクの着用、手洗いの徹底などの周知を図っています。また、学校においては感染拡大を防ぐため状況により学級閉鎖等を実施しています。引き続き、ワクチン接種などの最新情報をホームページに掲載するなど予防周知を行っていきます。今後も状況に応じて安房健康福祉センターと連携をとり、感染予防に迅速に対応していきたいと考えています。

ゴミ処理

問 安房広域圏で計画が進められている広域ゴミ処理施設について道筋が不透明と思うが、現時点での判断を伺います。

答 建設計画については、安

房広域圏の理事会で「ごみ処理基盤調査」の中間報告を受け、経済面や環境面において広域化が望ましいとの結果から、今後、最終的な報告の後に、大津地区での本格的な検討を行うこととしています。

問 ゴミ（資源・可燃等）処理コストの軽減という観点から収集方法を週3回から週2回へ

など、見直そうとする考えはな
いか伺います。

答 市民の皆様の利便性と収集・処理経費の削減とのバランスを十分考慮しながら、検討を行っているところです。

市有地等の公売

問 11月に実施した市有地等の公売の入札結果を伺います。

また、その他公売できる土地はないか、市有地の維持費は年間いくらか伺います。

答 一般競争入札により、駅西口土地区画整理事業区域内の土地256・57平方メートルについて1274万6000円で入札があり、落札者と契約手続きを進めています。また、湊地内の旧副市長公舎の土地建物については、入札参加者がいませんでしたので、機会を捉えて、改めて入札を実施していきたいと考えています。

その他の公売可能な土地は、21年11月末現在で普通財産として管理している土地で8.2ヘクタール、230筆ほどあります。

市有地に掛かる年間維持費について、21年度は普通財産の5箇所の草刈を委託しており、年

間維持費は約39万円です。なお、市職員が直接草刈作業等を行っている土地もあります。

答 市民の皆様の利便性と収集・処理経費の削減とのバランスを十分考慮しながら、検討を行つて実施必要と判断して県に交付申請の上、事業採択されれば実施できることになります。



公売に出された旧副市長公舎

地域活性化補助金

問 4月補正予算で計上した

緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別基金事業についての成果、雇用状況について伺います。また、来年度以降、民間提案の事業を取り上げる予定はないか伺います。

答 緊急雇用創出事業で5事業16名、ふるさと雇用再生特別基金事業で3事業7名の雇用が生まれています。なお、4月以降の補正予算で、緊急雇用創出事業として10事業21名の雇用創出を考えています。また、本事

業の実施主体はあくまで市町村ですが、市が民間から提案を受けて実施必要と判断して県に交付申請の上、事業採択されれば実施できることになります。

学校再編

問 学校再編における基本的指針を作成し地域説明会を実施するとしているが、指針の内容と説明実施時期及び学校再編に伴う地域再編に関して伺います。

答 教育委員会で基本指針の取りまとめ作業を行つており、大筋の方向性については固まりつつあります。内容については「子どもたちにとって最善の教育環境を保障する」という視点から学校の規模及び想定される再編パターンを示したいと考えています。再編にあたり配慮すべき事項については答申内容を尊重して市長部局と協議・連携しながら進めていきたいと考えています。住民説明会の開催時期は、指針策定後の今年度末から来年度当初の開催を想定して

として、おせつ会主催の移住希望者51名の参加がありました。また、移住地として数多くの魅力を持つ館山を紹介するためガイドブックを作成し、今年度から配布を始めました。9月と11月には東京で開催された移住相談会に参加し、ガイドブック等の配布や移住相談を行いました。取り組みの成果として、市及びおせつ会への問い合わせは、10月末で111件にのぼり、昨年度1年間の88件を大幅に上回っています。また、実際に移

まちなか再生

問 まちなか再生の取り組みとして、居住・定住促進についての取り組み状況とその成果について伺います。

答 今年度の具体的取り組みとして、おせつ会主催の移住希望者51名の参加がありました。また、移住地として数多くの魅力を持つ館山を紹介するためガイドブックを作成し、今年度から配布を始めました。9月と11月には東京で開催された移住相談会に参加し、ガイドブック等の配布や移住相談を行いました。取り組みの成果として、市及びおせつ会への問い合わせは、10月末で111件にのぼり、昨年度1年間の88件を大幅に上

ります。学校再編後の地域活性化対策についてですが、学校施設の利活用策も含め、府内でプロジェクトチームを立ち上げるなどし、地域住民の皆様とともに知恵を出し合い、理解を得ながら対処していく必要があると考えています。

住した人数については、正確な把握は困難ですが、おせつ会の取りまとめによると、これまでに19組48人が移住を完了しており、そのうち11組26人は今年度に入つてからの移住と伺っています。今後もNPOなど関係団体と連携し、移住者の支援活動を展開して定住促進を図つたいと考えています。

消費者相談

問 多様化する消費者相談に関して、現在の体制で十分かど

です。

消費生活相談

- 時 : 第1・第3木曜日
9:00~16:00
- 場所 : 市民相談室
(市役所内)
- 電話 : 22-3199

うか伺います。

答 現在、市では月に2日、

第1・第3木曜日を消費生活相談日と定めています。また、これに随わらず、日々寄せられる

相談等については商工観光課の職員が対応しています。近年、

消費生活相談の内容は、悪質商法の巧妙化、食品や製品の安全、

契約問題の複雑化、多重債務問

題の増加など、より多様、より

深刻になつております。相談員には

豊富な知識と経験が求められま

す。一方、相談員では、権限の

問題等により最終的な解決まで

行なうことが難しい問題も多く、

窓口としての限界があるのもま

た事実です。そのため、市では、

市民が被害にあわないための消

費者教育・啓発活動が最も重要

であると認識し、賢い消費者養

成のための地区講座の開催など

に主眼を置いた対策を行つてい

ます。

答 組合の21年度当初予算額は、369億5475万8千円で、加入市町村の退職手当給付額、加入市町村負担金総額、葉県市町村総合事務組合の当初予算額、加入市町村負担金総額、館山市の退職者数と退職金について伺います。

窓口としての限界があるのもまた事実です。そのため、市では、市民が被害にあわないための消費者教育・啓発活動が最も重要なと認識し、賢い消費者養成のための地区講座の開催などに主眼を置いた対策を行つています。



本市への視察訪問

会議録の検索・閲覧

平成22年の新春を迎え、編集

委員一同も気持ちを新たに、議会だよりの編集に取り組んでいます。

昨年は、年4回の市議会定例

会に加え、5回の市議会臨時会

が開かれるなど、議会開催回数

が非常に多い年でした。これは、

国の補正予算による景気対策

や、職員の給与改定、再議など

様々なものについて審議を行つたものでした。

今年は、厳しい市財政を着実

に改善し、経済活性化を図るべく、難しい行政運営が求められています。

議会としても、良い方向へ導

くよう、チェック機能を十分発揮すべく取り組んでまいります。

議会や議会だよりに関するこ

とのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール(番号及びアドレスは表紙参照)でご連絡ください。

編集後記

●次の定期会の予定●

- 開会日 : 2月25日(木) 午前10時~
- 一般質問 : 3月2日(火)、3日(水)
- 予備日 : 4日(木)
- 各日それぞれ午前10時~
- 請願・陳情提出締切 :
- 2月19日(金) 正午まで

＊＊議会報編集委員会＊＊
 ○委員長 ○副委員長
 ○小幡 一宏 ○山口 安雄
 横本 祐三 早船 亮一

1月18日 安房3市1町議会
議長会議員研修会Ⅱ地上デジタル放送について

平成21年第4回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第61号	平成21年度館山市一般会計補正予算(第5号)の専決処分の承認について	承認 全会一致
議案第62号	館山市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第63号	館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
発議案第11号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致

平成21年12月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第64号	館山市土地開発基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第65号	字の区域及び名称の変更について	原案可決 全会一致
議案第66号	平成21年度館山市一般会計補正予算(第6号)	原案可決 賛成多数
議案第67号	平成21年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第68号	平成21年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第69号	平成21年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第70号	平成21年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
議案第71号	館山市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	修正可決 賛成多数
議案第72号	平成21年度館山市一般会計補正予算(第7号)	原案可決 全会一致
議案第73号	工事請負契約の締結について	原案可決 賛成多数
請願第16号	「館山港多目的観光桟橋」への浮き桟橋の早期設置方請願書	採択 賛成多数
陳情第16号	【継続審査案件】新要介護認定期制度の中止・介護保険制度の改善のため国への意見書提出を求める陳情書	了承できない (文教民生委員会)
陳情第19号	非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択のお願い	了承できる (総務委員会)
発議案第12号	館山港多目的観光桟橋への浮き桟橋の早期設置に関する意見書について	原案可決 賛成多数
発議案第13号	非核三原則の早期法制化を求める意見書について	原案可決 全会一致
発議案第14号	館山市議会議員に議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致

平成21年第5回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
再議 (議案第71号)	議案第71号(館山市長及び副市長の給与及び旅費に関する条例及び館山市教育長の諸給与及び勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制度について)の再議について	3分の2の同意得られず先の議決(修正可決)を否決 修正前の原案可決 賛成多数

※再議とは、議会で行った議決に対し、異議があるなどして、長が議会に審議のやり直しを求ること。